



主な内容

令和6年能登半島地震における姉妹都市 輪島市への支援	P2
2024年 萩観光キャンペーン「#萩旅」に決定!	P3
インタビュー：創作洋食レストラン「海宴」オープン!	P6
萩市で新たな暮らしを見つけて見ませんか!?	P10

第167号 2024年4月

発行：萩ネットワーク協会
〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458
MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

しろうお漁（四ツ手網漁）



しろうお漁は、四ツ手網を使った伝統的な漁法で、松本川河口の姥倉運河周辺で2月下旬～4月上旬にかけて行われます。十文字に組んだ竹に四隅をとめた六畳大ほどの網（四ツ手網）を川底近くに沈めて、潮の流れののってしろうおが川を遡ってくるのを待ち、群れが網の上を通過する頃合いを見計らって、一気に網を引き上げるといったもの。そして、引き上げた網の上を柄の長いひしゃくでポンポンと叩いて、しろうおを集めてすくい取ります。

早春の萩の風物詩となっているしろうお漁は、松本川にかかる橋の上などから見るすることができます。（JR 東萩駅近く）



令和6年能登半島地震における 姉妹都市 輪島市への支援



令和6年能登半島地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

萩市では、姉妹都市 輪島市への支援を行っています。

●お見舞金の送金

1月5日に、お見舞金として1,000万円を送金しました。

●支援物資の送付

1月5日に、飲料水3,000本、非常食4,000食、毛布250枚、トイレ袋10,000袋を輸送し、11日に到着しました。

●義援金の受付

市民の皆様からの義援金を受け付けています。

義援金受付金額 13,909,480円（3月18日現在）

義援金箱設置場所

市役所本庁案内係、総合福祉センター、

各総合事務所、各支所・出張所

萩博物館、萩図書館、市民体育館、萩・明倫学舎

（問）福祉政策課 ☎0838-25-3550



※輪島市に限らない令和6年能登半島地震への義援金は、社会福祉協議会（赤い羽根共同募金）へ
（問）萩市社会福祉協議会 ☎0838-22-2289

●ふるさと納税の災害代理受理

輪島市に代わり、萩市が輪島市への寄付を受付、事務処理を代行する「災害代理受理」を行っています。
受付方法：ふるさとチョイス災害支援サイト（クレジットカードのみ。お礼の品の提供はありません。）

（問）産業戦略室 ☎0838-25-3351

●市職員の派遣

輪島市での支援活動を行うため、2月12日から19日まで市職員2人を派遣しました。

2人の職員は、輪島市内にある日本航空高校石川を拠点に、輪島市東部にある町野地区まちのの住宅調査を山口県の職員とともに行いました。町野地区の被害も甚大で、多くの家屋が全壊したほか、広範囲で断水が続いている状況でした。

萩市では、輪島市の一日も早い復旧・復興に向け、引き続き、できる限りの支援を行ってまいります。

姉妹都市 輪島市

輪島市と萩市は、伝統工芸の「輪島塗」と「萩焼」という日本を代表する伝統工芸を共に受け継ぎ、また、日本海側に同じく位置し、漁業や観光が主要産業であるなど類似点が多いことから、平成2年10月16日に姉妹都市提携を結びました。

（問）企画政策課 ☎0838-25-3342

2024年

萩観光 キャンペーン

はぎたび #萩旅

特設サイトはこちらから



観光キャンペーン
ポスター



に決定!

今年のテーマには、萩を訪れる方それぞれの「萩旅」を楽しんでほしい、という思いを込めました。観光課公式インスタグラムのアカウント名でもある「#萩旅（ハッシュタグはぎたび）」。萩ならではの情報を発信するだけでなく、萩に来られた方からも旅の思い出を投稿してもらおうことで、さらなる観光誘客を目指します。キャンペーンに関連する最新情報は萩市観光協会HP内特設サイトでご確認いただけます。

山口県の新たなご当地グルメが誕生！ 萩市は「長州海鮮まぶし」、「長州海鮮うにしゃぶ」

新ご当地グルメの提供店舗はこちらから



▲ 長州海鮮まぶし (飲食店で提供) ▼



▲ 長州海鮮うにしゃぶ (宿泊施設で提供) ▼



山口県観光連盟が「食」による観光消費の拡大を図るため、萩市と長門市の飲食・宿泊事業者と共同で、新たなご当地グルメを開発しました。萩で開発されたグルメは、「長州海鮮まぶし」と「長州海鮮うにしゃぶ」で、市内飲食店（5店舗）と宿泊施設（4施設）で提供されます。

(問) 観光課 ☎ 0838-25-3139

萩まちじゅう博覧会開催

萩市では、まち全体を屋根の無い博物館に見立て、歴史的まちなみや豊かな自然景観などの“おたから”を保存・活用し、まちづくりや観光地づくりを行う「萩まちじゅう博物館」の取組を進めています。



令和6年にこの取組が20周年を迎えるにあたり、“おたから”を市民や事業者の皆様が自らさらに活用し、観光やまちづくりにつなげて行くことを目的とした、「萩まちじゅう博覧会」を開催します。

【期間】 春期：5月17日(金)～6月2日(日) 17日間

秋期：10月18日(金)～12月1日(日) 45日間

【場所】 市内各所

【内容】 萩の暮らしや風景、技や食などの“おたから”にふれるプログラムを来訪者に提供し、『まちじゅうにあふれるおたからをめぐる旅』を楽しんでいただきます。

※コンセプト

- ・春期：「ゆっくり、ゆったり、少人数で萩の希少を楽しむ」
- ・秋期：「お気に入りのとことん楽しむ！萩を楽しめるプログラムが勢ぞろい」

※予定プログラム

「旧家のおたからの特別公開」「旬の食を特別な場所で楽しむ」などのプログラム（春期22件、秋期50件程度予定）

(問) 萩まちじゅう博覧会実行委員会事務局
 (萩市まちじゅう博物館推進課)

☎ 0838-25-3290

◆公式ホームページ



令和5年 観光入込客数

令和5年の観光入込客数は、3,828,146人（対前年比105.9%）、宿泊者数は、283,955人（対前年比98.3%）となりました。

新型コロナウイルスの影響を受ける前の令和元年と比較すると、観光入込客数は84.9%、宿泊者数は70.0%となりました。

コロナが収束し、観光入込客数は前年同様、回復傾向にあります。また、宿泊客数は、観光サービスの高付加価値化の交付金を活用し、施設改修を行った際に、休館や受入制限を行った施設があるため、前年比減少となりました。

■観光入込客数	令和5年	3,828,146人
	令和4年	3,614,421人
	令和3年	3,178,124人
	令和2年	3,199,061人

■宿泊客数	令和5年	283,955人
	令和4年	288,861人
	令和3年	244,119人
	令和2年	261,771人

(問) 萩市観光課 ☎ 0838-25-3139

レノファ山口FCに萩市出身選手が加入

萩市出身のJリーガー山本駿亮選手が、鹿児島ユナイテッドFCからレノファ山口FCへ今シーズン新加入しました。

山本選手は、椿東小学校卒業後、高川学園、徳山大学、鹿児島ユナイテッドFCを経て、レノファ山口FCへ完全移籍。3月3日に行われたホーム開幕戦では、萩市民の方や、多くのサポーターが維新みらいふスタジアムへ足を運びました。山本選手へ多くの期待が寄せられています。

4月3日にホーム戦がありますので、山本選手の応援に行きましょう。



山本駿亮 選手

山口県初！ジャパンラグビーリーグ1部のチームに入団決定！

2月2日、萩市出身でラグビー選手の平井建多選手が田中市長を表敬訪問しました。

平井選手は、大井中学校、萩商工高等学校を卒業後、九州共立大学に進学され、186cmの身長と110kgを超える体格でチームをけん引しました。

2月1日に、国内最高峰とされるラグビーリーグ「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」1部の三重ホンダヒートに入団が決定したことを田中市長に報告し、「一日でも早く試合に出るために精一杯努力したい」と意気込みを語りました。



平井建多 選手

全国初！ 市と社会福祉法人が共同で取り組む地域活性化

地域課題解決型複合施設 「グランド萩イースト」 オープン

この度、社会福祉法人創生会が、これまで運営してきた有料老人ホームに加え、学生寮、看護師住宅、賃貸オフィスなど、萩市の課題解決につながる施設を開設しました。

市と社会福祉法人が共同で実施する全国で初めての取り組みで、地域活性化につながることを期待されます。

【施設概要】

事業所名：グランド萩EAST

所在地：萩市大字古萩町25

事業内容：学生寮（男子）、看護師住宅、
企業向けの賃貸オフィス、
移住希望者向け短期滞在施設など

操業開始：令和6年4月1日



グランド萩イースト外観・内覧会の様子

旧総合福祉センター跡地に 分庁舎を建設！

市の執務室として利用している萩商工センターの老朽化、本庁舎等における会議室や書類等の保管場所の不足などの懸案に対応するため、旧総合福祉センター跡地に分庁舎を建設します。加えて、山陰道整備の進捗に伴い、国に貸付けている施設が手狭であると聞いており、分庁舎への移転について、国に情報提供しているところです。山陰西部国道事務所が分庁舎に移転することとなれば、今以上に国と市との連携が強化され、山陰道の整備促進につながることを期待するものです。



萩・明倫学舎4号館にサテライトオフィスを開設 エイチ・シー・ネットワークス株式会社 と協定締結

3月8日、エイチ・シー・ネットワークス株式会社が、萩・明倫学舎4号館2階に、サテライトオフィスを開設することを決定したことから、山口県の立会いのもと、同社と萩市との間で進出協定を締結しました。

新たなIT企業の進出により、産業振興と雇用機会の創出が期待されます。



詳しくは
こちら



浜崎を盛り上げる一員になりたい！

創作洋食レストラン

海宴~kaien~オープン！

オーナーシェフ
としゆき

Interview

森本 利志 さん



今年1月8日（月・祝）、重要伝統的建造物群保存地区である萩市浜崎町に新しくオープンされた海宴（kaien）。築120年の建物を当時の建築様式を残しながらも大胆なコンセプトの基、現代の建築技術とアートを調和させ、一棟貸しの宿として蘇った「浜崎の宿萩別邸」の一角に構える創作洋食レストランです。そのオーナーシェフの森本さんにお話を聞きました。

■ **まずは森本さんの経歴とオープンまでの経緯をお聞かせください。**
▼萩市に生まれ育ち、高校卒業後は福岡のホテルの厨房に就職し、3年間ほど勤め、その後、フレンチを学びにフランスに1年間ほど留学し、帰国後は、福岡の別のホテルで12年ほど勤めます。その後、魚を学ぼうと福岡の居酒屋で約7年勤めていました。料理人となることを決めた当初よりいつかは独立をと考えていたので、

働きながらも福岡で物件を探していたのですが、新型コロナにより飲食店は大ダメージを受け、独立するタイミングを延ばさざるを得ない状況になっていました。月日は経ち、新型コロナも5類感染症に移行したことで、本格的に独立をと動きはじめていたところ、昨年10月、萩ビズさんを通して浜崎の宿萩別邸の一角となる物件をご紹介いただき、地元で出店することを決めました。

■ **福岡でと考えておられたのに、地元で出店することに急転された理由は何だったのでしょうか？**
▼まず物件にとっても魅力を感じたことです。築120年のとてもしっかりした古民家を、現代建築技術を用いてリノベーションされ、情緒もありつつ古さを感じさせない空間であり、広さ、造り、そしてロケーションも含め私が理想と



牛タンシチューのオムライス

するものとマッチしていました。また、何よりも、江戸時代に栄えていた浜崎地区の復興を目指し、浜崎しつつよる会の方々が20年くらい活動を続けてこれられ、その成果あつてか、近年新しいお店、新しい宿泊施設が立て続けにオープンしているなど、浜崎町一帯が少しずつ盛り上がりを見せていることに将来的可能性を感じました。

自分もそこに携わり、盛り上げていく一員になりたいなと思いい、地元萩での出店を決めました。

■ **それにしても昨年10月に話ができ、約3ヶ月でオープンというのは凄いですね。**
▼自分が働ける残りの年数から逆算すると、これ以上独立を先延ばしにできない年齢になってきたところ新型コロナにより更に押し迫っていたので、迷うことより先ずやってみようと決断しました。本当に直感ですね。

でも、決断した後で、この直感は正しかったと思えるほど、浜崎は良いところですよ。萩に住んでいる人には身近過ぎてあまり気付かないのだと思いますが、重要伝統的建造物群が醸し出す町並みの良さ、近くに海もあり、店を一步出れば、山と中国山地を源流とした河川が見えるロケーションは全

国でも数えるほどしかないと思います。

オープンを決めて、知人が数人訪れてきたのですが、必ず感動して帰ってくれ、福岡でなくここに決めて良かったなと思っています。

■提供されるメニューや営業形態、またお店のコンセプトについてお聞かせください。

▼オープンしてまだ間もないので、1月中は様子見でやってきました。今のところ週替わりでランチコースを2つのメニューとして出し、夜は予約制で承っています。

フレンチやイタリアンなどの調理技法も使いますが、フレンチやイタリアンという堅苦しい枠組みは取り払い、気軽には言いませんが、良い食材を使い、手間暇かけて造る少しだけ上質な洋食を提供し、それにあっただけお酒を楽しん



自家製クラムチャウダーのコロッケ

でもらえるお店をコンセプトにしています。

■本格始動はこれからということですね。それでは、今後の展望をお聞かせください。

▼まだ、スタートしたばかりなので、はっきりとこのようにしていきますとは言えないところもありますが、2月からは夜営業をメインに切り替え、昼の営業は週2日に絞っていかうと考えています。

今のところ1人で調理と給仕をしていますので、コースは大皿料理となりますが、その分、種類を多くし、内容を充実させていきます。10名様まで使える個室もあり団体のお客様もご利用いただけます。全ての席を使えば、貸し切りで30名くらいまでは対応できる店舗ですので、立食パーティーなども含め、活用の可能性はいくつかあると思っています。

また、当初はカウンター席を設けない予定だったのですが、お一人様でも気軽に過ごしたいだけけるようにカウンター席も設けました。萩の繁華街からは離れていますが、近所の方がフラッと訪れて、有り合わせの食材を使った料理をつまみに一杯ひっかけられることもできます。

お隣に同じく古民家を利用した

喫茶えんのしたというお店があるのですが、昼夜問わず、老若男女が集まるコミュニティとなっています。海宴も同じように人が集まるレストランとなり、浜崎を盛り上げる一員になりたいと思います。■ありがとうございます。

■海宴 KAIEN

住所 萩市浜崎町123-1

浜崎の宿 萩別邸内

営業時間 17時30分～L.A.S.T

※土・日のランチ

11時30分～14時 (L.O. 13時)

店休日 火曜日

TEL 090・5297・7585

インスタグラムは

こちら▼



浜崎の宿 萩別邸

祝 令和6年 萩市

「二十歳のつどい」

1月2日、市民館大ホールで「二十歳のつどい」を開催し、二十歳を迎えた287人が出席されました(対象者460人、出席率62・4%)。

式典では、田中市長が「吉田松陰先生をはじめ、数々の偉業を成し遂げた誇るべき萩の先人たちの情熱と行動力に思いを馳せつつ、皆さん自身の将来の目標や夢について考えてください。その上で、大人としての自覚と責任をもち、志高く、さまざまなことにチャレンジし、次なる歴史を築かれることを期待しております。」と激励しました。



地域	出席者数	対象者数
萩	223	382
川上	6	6
田万川	14	19
むつみ	7	7
須佐	14	19
旭	15	19
福栄	8	8
計	287	460

おめでとうございます

萩の魚のおいしさをもっと伝えたい！ 「活メラベル」出荷の取組が始まりました！

この取り組みは、萩の魚の付加価値向上のために、萩市と山口県漁業協同組合はぎ統括支店が連携して始めたものです。「活メラベル」は、審査に合格した漁業者等によって血抜きや活締めされ、萩市場に出荷された魚に貼られるもので、通常版と魚の重さや漁獲時期の認定基準を定めた特選版の2種類あります。

血抜きや活締めとは魚の処理方法の一つで、この処理をすることで鮮度や味を保つことができます。



活メラベル(特選版(上)と通常版(下))



審査に合格した活締め技術認定者の方々(前方6人)。



活メラベル出荷されたアマダイ

至誠館大学と長門高校との 高大連携協定締結

至誠館大学と長門高等学校は、大学教育と高等教育の連携を円滑にするため、高大連携事業に関する協定を締結しました。

今後、教育内容の充実と学生・生徒の資質向上に向けて、相互の講師派遣や大学の授業の受入など様々な取り組みが行われます。



至誠館大学・長門高等学校
高大連携事業に関する協定締結 調印式

阿武町通信



オープン2周年
記念イベント也大盛況！



所狭しと並び色とりどりのテント

アウトドア体験を通して阿武町の豊かな森・里・海の恵みを伝える拠点施設「ABUキャンプフィールド」は、今年3月でオープン2周年を迎えました。

3月15～17日の3日間、2周年を祝う記念イベントを催し、豆腐づくりや漁船フルーzing、チェーンソーでの伐倒体験など、阿武町の第一次産業や、特産品などを味わう体験プログラムの数々を提供しました。



16日夜には打ち上げ花火

記念行事として、「まちの縁側交流会」と銘打ったトークイベントも開催。地方創生やライフスタイルなどを扱うSDGsマ

ガジン『ソトコト』の編集長で、「関係人口」という言葉の生みの親である、指出一正氏をゲストに招いて、第一次産業の担い手や道の駅スタッフなど、多くの人にマイクを渡し、「一日海士体験」や「森里海の市」など、それぞれ携わった体験プログラムを語りました。

*

指 出氏は、「いろんな分野の人が活躍しながら、まちづくりに携わるといふ、理想的な循環が生まれています。近年よく言われる『ウェルビーイング(幸福)』とは、誰もが『ゴキゲン』に関わり合っている阿武町の姿そのもの。小さな町に、人の魅力がギュッとつまっています」と阿武町を評価しました。



『ソトコト』編集長
さいで かずまさ
指出一正氏

動画サイト「YouTube」の「FUJIFILM X Series」チャンネルで萩市が紹介されています

動画サイト「YouTube」の、富士フィルム株式会社が運営する「FUJIFILM X Series」チャンネルで萩市が紹介されています。

本動画制作にあたっては、昨年11月に萩市内で撮影が行われました。

動画は、1980年に萩を訪れた写真家のサム・エイベル氏が、再度萩を訪れて当時撮影した場所や人物に再会する内容で、教え子の写真家野辺地ジョージ氏と歩む萩の美しい景色や風景が多く撮影され、紹介されています。(サム・エイベル氏は2016年、2017年、2019年にも萩を訪れ、2017年と2019年には写真展を萩市で開催しています)

今後萩市では、富士フィルム株式会社の協力により、観光プロモーションやインバウンド誘致に本動画の活用を考えています。

◆動画サイト

https://youtu.be/6_cigk8EPYk?si=9mtZ5GX8Nqby6Akm

◆動画タイトル 「X100VI: Timeless Value x Sam Abell」

(2/20から配信され、3/18現在で18万回以上再生されています)



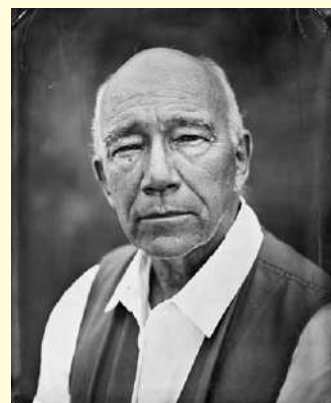
◆主な萩市内での撮影場所

平安古鍵曲、堀内、菊ヶ浜、坂高麗左衛門窯、大照院など

◆写真家サム・エイベル氏について

1945年、アメリカ・オハイオ州で出生。世界的に著名な写真家。

30年以上に渡り世界屈指の写真誌、ナショナル・ジオグラフィックで活躍。作品には皇居の取材や萩も含まれる。数多くの写真集を出版し、個展も開催。現在は優れた指導者として活躍中。



サム・エイベル氏

国指定
100周年

「萩反射炉見学会」を開催しました

萩反射炉は、大正13年(1924)の国史跡指定から、今年で100周年を迎えます。また、平成27年(2015)には世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産となっています。

保存修理に向けた調査を行うため、令和5年12月末から令和6年3月までの約3ヶ月間、反射炉の周囲に足場を設置しました。足場は7段あり、最上段の高さは約11m。高さ10.5mの反射炉の煙突は全て覆われました。

この機会を利用して、3月2日(土)に、一般の方を対象とした見学会を行いました。参加者は25人で、3回に分けて見学を行いました。

参加者は足場を登りながら、下部の石積部、上部の煉瓦部、煙突先端に設けられた天蓋などを間近で見学し、萩市文化財保護課の専門職員から、萩藩が試行錯誤した萩反射炉の歴史や、これまでの修理の内容について説明を受けました。また、足場最上段からは、同じく国史跡で世界遺産の構成資産である恵美須ヶ鼻造船所跡や、河津桜が満開の道の駅萩しーまーと等が一望でき、めったに見ることのできない上空からの風景を楽しんでいました。

なお、反射炉の調査は3月14日に終了し、現在、足場は撤去され、普段の風景に戻っています。



萩市で新たな暮らしを見つけませんか!?

UJターン・みなさまの移住をサポートします!!

萩市では、人口減少と高齢化により、社会活動や経済活動における担い手不足等による地域活力の減退など、様々な分野において大きな課題となっています。そうした中、萩市においては、「若者の働く場の創出・確保」、「移住を促進する住まいの確保」、「出生・子育て・教育環境の充実」を三本の柱とした人口減少・少子化対策に取り組んでいます。

そこで、市外にお住まいのみなさまに、萩市の移住支援などの取り組みを紹介します。今回は、お気軽にご相談いただける定住総合相談窓口「はぎポルト - 暮らしの案内所 -」や移住者の方の住まいへの支援について、次号では、移住就業・創業支援やテレワーク移住支援などについて、お知らせします。

歴史・文化・自然を身近に感じることができる“萩市”で新たな暮らしを見つけませんか!?

萩市への移住をサポートします!

〇はぎポルト - 暮らしの案内所 -

移住希望者からの空き家情報の提供などお住まいや就業・創業などのお仕事、生活環境や子育て環境、移住支援など、様々な相談ができる総合相談窓口です。



【はぎポルト】萩・明倫学舎4号館

☎ 0838-25-3819 FAX 0838-22-7311

専用サイト「はぎポルト」<https://www.hagiporto.com>

移住者の方の住まいを支援します!

〇萩市空き家情報バンク制度・支援

萩市内にある空き家を移住希望者の住まい（賃貸・売買）として情報提供し、空き家所有者との契約に向けた支援を行います。また、空き家バンク登録物件を購入または賃借して改修した移住者への改修経費の一部補助や賃貸物件の家賃の一部を補助します。

〇若者・子育て世代移住応援事業

— 民間アパート等の家賃を補助 —

5年以上萩市に定住する意思のある方で、39歳以下または中学生以下の子供がいる方に民間賃貸住宅家賃の1/2（上限2万円/月）、最大2年間補助します。

※補助対象要件がありますので、詳しくは、ポータルサイトでご確認いただくか、「はぎポルト」にお問い合わせください。

首都圏・関西圏の方は下記相談窓口でも相談できます!

【やまぐち暮らし東京支援センター】

東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8階

☎ 03-6287-4887

【やまぐち暮らし大阪支援センター】

大阪府大阪市北区梅田 2-4-13 阪神産経桜橋ビル 2階

☎ 06-6341-0755

萩市移住定住情報ポータルサイト 「はぎポルト」を リニューアルしました!

移住をお考えの皆様へ情報を一元的に提供するポータルサイトです。

「働く」「住まい」「子育て」「移住支援」「体験※」情報など、カテゴリー別に分かりやすく紹介します。



※お試し暮らし住宅や萩暮らし体験ツアーなど、移住を検討されている方が事前に萩暮らしを体験できます。

※はぎポルトでは各種SNSで萩市で活躍する人やイベントほか旬な情報を発信しています!



相談窓口一覧

住んでみいね!
ぶちええ山口



空き家を若者・子育て世帯向けの賃貸住宅にリノベーションする費用の一部を補助します！

萩市では、移住定住を促進するために、空き家などを活用した移住者の受け入れを積極的に進めています。

令和5年度から、子育て世代等の移住相談者の多くが希望される、水回りなどを新たに改修した賃貸物件の登録を増やすため「空き家賃貸住宅化促進事業補助金」を新設しました。萩市内に空き家をお持ちの方で、本事業に関心のある方は、お気軽にご相談ください。

■対象者：中山間地域・離島の空き家所有者で、世帯主の年齢が39歳以下、または中学生以下の子どもがいるUJI世帯に賃貸住宅として貸し出すために、物件を改修する方（その他にも要件あり）

■補助額：空き家の改修費用の一部を補助

■上限額：200万円（10/10） ■募集戸数：5戸

■物件選定：申請書に基づき審査（評価項目に応じて評価）、評価点数・地域事情を考慮し選定

■募集期間：6月21日(金)まで

■申込方法：おいでませ、豊かな暮らし応援課備え付けの申請書（市HPからダウンロード可）を提出



360°VR内覧
可能です

大井地区 (No.1-292)

7LDK / 木造平屋建
家賃 3万円 / 月



物件の詳細情報は
こちらからご覧ください

萩市立大井小学校まで徒歩12分(約850m)
大井出張所まで徒歩6分(約400m)
近くのコンビニまで徒歩8分(約600m)



360°VR内覧
可能です

佐々並地区 (No.6-054)

8LDK / 木造2階建
家賃 2万5千円 / 月



物件の詳細情報は
こちらからご覧ください

萩市立佐々並小学校まで徒歩9分(約700m)
佐々並出張所まで徒歩6分(約450m)
道の駅あさひまで車で3分(約900m)



詳しくは
こちら

また、令和5年度に補助
者募集した2戸の住宅の入居

入居者募集 佐々並地区定住促進住宅

子育て世代の移住定住を促進するため、旭地域佐々並地区の民家をリフォームし、定住促進住宅として整備。この住宅は、佐々並小学校が目の前の立地の平屋建です。市外にお住まいで、萩への移住等に関心のある方、是非お問い合わせください。

(1)住宅の所在地

萩市大字佐々並 2703 番地 1

(2)入居者の資格

- ①入居の申込時において、市外に居住している方。
- ②入居時において、入居者（定住促進住宅に同居する方を含む。）の中に、小学生以下の子または妊娠中の方であって、母子健康手帳の交付を受けている方がいること。など

(3)入居期間 5年

(4)家賃 25,000円 / 月

(問) おいでませ、豊かな暮らし応援課

☎ 0838-25-3356



会員情報 「絵馬奉納」

この度、国の重要文化財に指定されている山口八幡馬場いまはまんぐうの今八幡宮に龍の大絵馬を奉納いたしました。楼門に1年間飾られます。山口市に行かれることがありましたら1度立ち寄ってご覧いただければ幸いです。

絵馬は縦90cm、横175cm。若い方にも興味を持ってもらえたらと、これまでの絵馬のイメージとは少し異なるファンタジックな絵画空間を、アクリル絵の具で描きました。絵を見ながら、それぞれの物語を作って楽しんでもらえればと思います。

また、これを機会に今八幡宮様に絵馬作品が印刷されたクリアファイルも作っていただきました。社務所にて販売されるようです。 画家・小田善郎（萩市出身、美祢市在住）



大阪指月会同窓会総会

大阪指月会もこの3年間総会開催を控えておりましたが今年4年ぶりに開催します。

日時 4月21日(日) 12:00～15:00

会場 大阪キャスルホテル3階 錦城閣

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1番1号

☎ 06-6942-2401

松本実 出演映画「二宮金次郎」

■映画「二宮金次郎」

萩市出身の俳優、松本実氏が出演しており、二宮金次郎の生涯を上映

■日時：4月28日(日)

11:00～ 14:00～

18:00～ (3回上映予定)

■場所：サンライフ萩 多目的ホール

■料金：1,000円

(問) 映画「二宮金次郎」

萩市上映実行委員会（笹村）☎ 0838-21-5495



Thanks Buddy 企画運営 株式会社 ヨシダキカク

おおぐし まりも
大串 菜里望 さん

Interview



日本酒は酒米作りから日本酒を醸し、出荷販売、そして消費者が口にするまで、1年を通じた営みからできており、その過程では酒米作りをする農家、お酒造りをする蔵人、お酒を消費者に届ける酒屋など沢山の人の思いと手仕事加わっています。そして、阿武町、萩市には、県内地区別では最多となる6蔵が現存し、多くの人々が携わる地域産業のひとつとし

て担われます。そんな阿武・萩の日本酒が育まれる景色を後世にも紡いでいきたいと企画されたのが「Thanks Buddy」。企画運営を担う株式会社ヨシダキカクの大串 菜里望さんにお話を聞いてきました。

■大串さんは、ヨシダキカクに就職するのを機に移住されてきたと聞きました。まずは、大串さんの経歴、ヨシダキカクに就職した経緯をお聞かせください。

▼出身は島根県益田市になります。小学5年から中学卒業の5年間は萩市田万川地区に住む曾お祖母ちゃんの家で育ちました。

高校は再び島根に戻り、大学も島根県立大学の総合政策学部に進学し、政治や経済や経営とかを広く学びます。専攻したゼミでは経営マーケティングを学び、1年かけて銀行と老舗蒲鉾屋さんと大学でお土産を開発するなどの取り組みもしていました。

また、在学中2年間休学し、京都でバイトをしたり、オーストラリアに1年ほど留学もしたりと、大学以外でも積極的に学んでいました。

大学卒業後は名古屋の人材派遣業に就職したのですが、人間関係が希薄になってしまいう都会暮らし

に性格が合わなかったというのと、人材派遣の仕事が自分の想像していたものと違って、自分が学んできたことを活かせられないなと感じ、この生活を続けていけないと半年で退職を決めました。

ちょうどその頃、両親が民泊を始めたということもあり、転職するなら親の仕事に還元できるものがないかと考え、探していたところ、大学時代にお世話になった先生からヨシダキカクの吉田さんを紹介いただきました。

ヨシダキカクのことは移住スカウトサービスマウツ(SMOUT) (スマウト) に記事が載っており、民泊施設の管理業務やSNSでの情報発信業務などがあることを知り、是非ヨシダキカクで働きたいと即応募し、一昨年の10月に入社させていただきました。

■それは「Thanks Buddy」についてお聞かせください。どのようなことを目的として、どのような内容なのでしょう？

▼人口5万人を切る地方都市であるにも関わらず、阿武・萩には6つの酒蔵が残っています。

山口県の日本酒処と言われる岩国地区でさえ5蔵、全国屈指の日本酒処の東広島市であっても7蔵と、人口比率から考えると、阿武・

萩地区は日本トップレベルで日本酒文化が育まれている場所だと言えると思います。その誇れる地域文化を次世代にも紡いでいくことを目的に「Thanks Buddy」は企画されました。

発足のきっかけとなったのは、(公財)やまぐち産業振興財団に村上さんという女性の方がおられました。食品企業の販路開拓支援をされている方なのですが、その方の支援のもと、阿武・萩の6蔵で素晴らしい日本酒をもっと沢山の方に知ってもらおう活動ができたかとお話を伺いました。

そこで、阿武・萩の6蔵が加盟する萩酒米協同組合が事業を起すことになり、企画運営を行う会社として同じ萩のヨシダキカクにお声がけいただけただけという流れになります。

「Thanks Buddy」の内容を一言で表すなら「阿武・萩で造られる日本酒の応援者(メンバー)になってくれる方を全国で募る」となります。メンバーになると阿武・萩6蔵の新酒6本セットが届き、特典としてオンライン日本酒の会や酒米の田植え・稲刈りなどの各種イベントに参加いただけます。

またメンバー限定情報も受け取ることが出来ます。そして、この

企画で大切にしていることは大きく3つあり、1つ目は多くの人に選ばれる日本酒を造り続けること。この地だからこそ表現できる味、保てる品質、共感できる想いを20年先、30年先にも継続できるようにしたいと考えています。

2つ目は日本酒だけでなく日本酒を取り巻く文化と共に豊かになっていくことです。400年以上の歴史がある萩焼に始まり、山や海などの自然から得られる「幸」は萩の豊かな食文化を支えてくれています。日本酒を造り続けることは、酒器や食文化、はたまた日本酒造りに必要な自然の恵みなど、取り巻く環境にも影響を与えるものだと考えています。

3つ目は阿武・萩の日本酒をそぞぎあう風景をつくることです。そぞぎ、そそがれるという場面は心躍る時間を共有しているはずで、阿武・萩で造られる日本酒を酌み交わし、楽しい時間を過ごしていただきたいと願っています。これら3つのことを大切にすることで、この地で生産される日本酒が人と自然と文化という循環の中に組み込まれ続け、阿武・萩の日本酒が育まれる風景を守ることに繋がるものだと信じています。この風景を守り続けるために、

Thanks Buddyのメンバー(バディ)となって、みんなで紡いだお酒をそぞぎあっていたいただきたいです。

■この企画を練っていくにあたって大串さんが感じたことは何でしょうか？

▼発端は阿武・萩で造られる素晴らしい日本酒を多くの人に知ってもらいたいところからになります。この企画を起すにあたって、まずは日本酒のこと、6蔵のこと、そして取り巻く環境を知る必要がありました。

知れば知るほど、この小さなまちで酒蔵が6つもあること自体、ほんと凄いことだと感じましたし、GI(法律で定められている地理的表示に関する表示基準)に指定されるのも納得でした。

しかしながら、酒米の田植えや稲刈りに参加し、生産者さんにお会いすると、ほとんどの方が後期高齢者の方、更にはコロナの影響で減反するところもあつたよう。今は生産できている酒米が、20年後、30年後、地元で生産できなくなってしまうのではないだろうかと考えさせられました。

地域外で生産された酒米を使うとお酒を造ることもあるのですが、やはりこの地の土と水で育つた酒米で造られる日本酒という

ころに価値があるものだと思いますので、この状況を多くの人に知ってもらいたいと感じました。

メンバーになってくれた方が田植えや稲刈りに参加くださったので、移住して就農したい、酒米を作りたいって思われる方が一人でも居られればなと考え、「Thanks Buddy」では日本酒を手に入れ飲むだけでなく、日本酒を造るところから関わってもらい、酒蔵さんはもちろん酒米の生産者さんや酒屋さんのことも近く感じてもらえたらなと思います。

■最後に読者の方にPRをどうぞ！
▼広く阿武・萩のお酒を知ってもらいたいというのが大目標ではありますが、既に6蔵のお酒の味を知っている地元の方にも是非メンバーに入っていたきたいです。

6銘柄のお酒を手に入れる以上の加入料がかかりますが、その価格に見合うだけの価値があるものです。地元が誇る日本酒を、まずは地元の方で育んでいただきたいです。

■ありがとうございます。ございました。

Thanks Buddyについて、
メンバー登録はサイトから
<https://thanksbuddy2023.com/>



「明治日本の産業革命遺産」オリジナルブックカバー制作

萩市を含む8県11市で構成する「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会(事務局・鹿児島県)では、令和7年の世界遺産登録10周年に向けたプロモーションの一環として、オリジナルブックカバーを制作しました。

全国の書店計63店舗で、文庫本または新書購入者を対象に、令和6年2月23日(金)祝日から配布し、市内では、明屋書店萩店にて、300枚を配布しました。

ブックカバーの折り返し面には、8県11市の23の構成資産を写真で紹介しているほか、構成資産を舞台とする短編ミステリー小説の公開先も掲載したデザインとなっています。

今後も様々なプロモーションを展開していきますので、ご注目ください。



(問) 萩市文化財保護課
0838・25・3835



三輪窯 三輪太郎氏、初個展開催

第13代三輪休雪氏の長男である三輪太郎氏が、令和6年3月に開催された日本橋三越本店での展示にてデビューしました。今後の活躍が期待されます。

三輪太郎氏 略歴

- 1984年 山口県萩市に生まれる
- 2007年 武蔵野美術大学彫刻学科卒業
- 2009年 同大学院修了
- 2024年 日本橋三越本店にて初個展



土嵐2

information

第21回萩往還まつり「技・明木展」

市・県内外の伝統工芸品等の展示販売、ワークショップ、地域特産品の販売、飲食コーナー、オカリナ演奏など約80店が出店。

【日時】5月3日(金)祝 10:00～16:00
5月4日(土)祝 10:00～15:00

【場所】萩往還交流施設「乳母の茶屋」と
周辺民家軒先（明木市）

（問）萩往還工芸まつり実行委員会
（内村）☎ 0838-55-0817



萩陶芸家協会 30周年記念 「萩陶芸のいま - 2023」図録を作成

昨年10月に萩市内3カ所の文化財施設で萩陶芸家協会30周年記念展「萩陶芸のいま - 2023」を開催し、約1200人の観覧がありました。その際に作成した図録を、協会HPに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。（※非売品です）

（問）萩陶芸家協会事務局
（萩市商工振興課内）☎ 0838-25-3108



市内全体が会場

第31回 萩焼まつり

萩のゴールデンウィークの恒例イベントである萩焼まつりは、市内の協賛店店舗、萩・明倫学舎、市民館を会場とし、市内の窯元や小売店、特設会場を巡り、お気に入りの器を探しながら街歩きを楽しむイベントです。萩焼まつり期間中に買物をすると、特典があり大変お得です。

さらに、5月1日に開設する、「萩焼まつり web サイト」内では、オンライン販売も行い、自宅や外出先からでもゆっくりと萩焼のお買物が楽しめます。

【日 時】5月1日(水)～5日(日)祝

※時間は各事業者の営業時間による

【場 所】市内協賛店店舗、萩市民館、萩・明倫学舎

【萩焼まつりオンライン販売】

【日 時】5月1日(水)～16日(木)

（問）萩焼まつり実行委員会（萩商工会議所内）
☎ 0838-25-3333

HAGI オープンガーデン Final

普段見ることができない市内の個人やお店、名刹の庭園を開放します。また、オープンガーデンは、今開催をもって終了となります。

【日時】3月30日(土)～5月26日(日)

※定休日や時間は施設によって異なります。

※会場によって開催期間が異なります。

(一部会場は5月18日(土)～)



【場所】市内18カ所(有料施設も含む)

菊屋家住宅、ホトリテイ、旧田中別邸、萩のお宿 花南理の庭(要予約)、渡辺菫蔵旧宅、室田家(藍場川の家)、桂太郎旧宅、熊谷美術館、口羽家住宅、満行寺、横田家、旧湯川家屋敷、ムビガーデン、東光寺、桃隠山 光園寺、古民家喫茶 亀の家、平山台フルーツ・ガーデン、工房 風

※個人宅も含まれますので、見学の際にはチラシ(観光課、萩市観光協会、各会場で無料配布)をご提示ください。

(問) 萩市観光課

☎ 0838-25-3139



浜崎伝建おたから博物館

浜崎伝建地区を舞台に、旧家に代々伝わるおたからの数々を特別に公開する年に1度のイベントです。地元住民が案内するガイドツアーや、国指定史跡旧萩藩御船倉でのコンサート、スタンプラリー、地元の特産物販売や食堂グルメなどが楽しめます。

【日時】5月19日(日)

9:00～15:00

【場所】萩市浜崎本町筋周辺

(問) ☎ 0838-22-1033



萩の和船大競漕～おしくらごう～

玉江浦地区で受け継がれている和船競漕「おしくらごう」。おしくらごうは、1780年代に始まったとの記録が残されており、少なくとも240年以上前から、今に受け継がれている伝統行事です。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきを上げて白熱したレースを繰り広げます。

また、伝統行事「おしくらごう」に先駆けて行われる「第19回萩の和船大競漕」には公募参加のチームが出場します。

【日時】6月2日(日) 8:30～13:00

【場所】萩市玉江浦(橋本川下流域河川敷・常盤橋～玉江橋間)

(問) 萩市水産課 ☎ 0838-25-4195



萩八景遊覧船運航開始

遊覧船に乗って、約40分の上水散策を楽しみませんか。桜の開花時期には、橋本川土手の美しい桜並木を船上から眺める桜観賞コースを運航します。

【期間】11月30日(土)まで

【受付時間】9:00～16:00

(11月は9:00～15:30)

【発着場所】指月橋そば(萩市堀内)萩城跡入口付近

【乗船料】大人1,200円、小人600円

(団体割引あり)

(問) 萩八景遊覧船 ☎ 0838-21-7708



萩・大茶会

市内の各流派が、緑美しい指月公園を中心にお茶席を設けます。萩焼とともに古くから親しまれている“茶の湯文化”に触れることができます。

【日時】5月3日(金)祝・4日(土)祝

【場所】萩城跡指月公園 花江茶亭、萩博物館、萩市民館、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋

【茶券】[前売券] 薄茶3席券 1,200円

[当日券] 薄茶1席券 500円

※販売所：萩市観光課、萩市観光協会

(問) 萩・大茶会実行委員会(観光課内) ☎ 0838-25-3139



萩・夏みかんまつり

夏みかんの白い花が咲く季節に合わせて、夏みかん経済栽培の発祥の地となった「かんきつ公園」で開催します。

夏みかんや夏みかん製品の販売、夏みかん収穫体験、夏みかんクイズラリーやガラポン抽選会、抹茶席、萩八景遊覧船無料乗船体験などがあります。

【日時】5月11日(土)・12日(日) 10:00～16:00

【場所】かんきつ公園・旧田中別邸(平安古町)

(問) 萩市観光課 ☎ 0838-25-3139



萩まちじゅう博物館 20周年記念企画展

再発見・萩の「まち」

「萩まちじゅう博物館構想」がスタートして20年。なぜ「まちじゅう」が博物館とみなせるのでしょうか。江戸時代から大きく変わらない萩の「まち」に息づくひみつや魅力について、萩城下町を描いた絵図や古写真などの資料、展示にあわせた謎ときクイズなどを通じて再発見します。

- 会 期：開催中～6月頃
- 場 所：萩博物館 企画展示室
- 料 金：大人520円、高・大310円、小・中100円、未就学児無料



開館20周年特集展示

萩博物館ができるまで

写真や図面、過去～現在の活動の記録などをとくに、当館ができるまでの歩みを紹介します。

- 会 期：開催中～6月頃
- 場 所：萩博物館 人と自然の展示室

開館20周年特別展示シリーズその①

学芸員イチオシの逸品「ジュリアおたあの書状」

安土桃山時代に朝鮮から来日し、徳川家康に仕えるもキリスト教棄教を拒否して迫害されたジュリアおたあの手紙を初公開の書状を公開します。

- 会 期：開催中～5月6日(月)(祝)
- 場 所：萩博物館 常設展示室

【関連イベント：ギャラリートーク】

日時：5月11日(土)
14:00 から約30分程度

- 開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで) ■ 4月の休館日：なし
- 観 覧 料 通常料金：大人/520(410)円 高校・大学生/310(250)円
小・中学生/100(80)円 ※未就学児無料 ※()内は割引料金



萩博物館 HP

山口県立萩美術館・浦上記念館

☎ 0838-24-2400

特別展

兵庫陶芸美術館所蔵 赤木清士コレクション 古伊万里のモダン 華麗なるうつわの世界

会期：4月27日(土)～6月23日(日)

【料金】一般1,200円、学生1,000円
70歳以上900円、18歳以下無料

江戸時代の〈古伊万里〉を中心に100件の作品で伊万里焼の魅力に迫る。

色絵花盆文大皿 肥前 有田
江戸時代中期(17世紀末～18世紀中頃) 兵庫陶芸美術館蔵



普通展示 (料金 300円、70歳以上18歳以下無料)

陶芸1 十三代三輪休雪の陶

会期：～6月23日(日)

土が根源的に秘めているエネルギーを最大限に引き出した十三代三輪休雪の作品を紹介。

十三代三輪休雪《恒久破壊I》1987年



陶芸2 山口県の伝統工芸Ⅱ

会期：～6月23日(日)

「赤間硯」、国指定重要無形文化財「彫金」保持者・山本晃の作品、漆芸作品でこの地域にしかない卓越したわざを紹介。



堀尾信夫《瓜研》
1985年 当館所蔵
撮影：山崎信一

休館日(4月) 4月8日(月)、
15日(月)～21日(日)

萩美術館
HP



東京・大阪からの旅行・帰省は 萩・石見空港へ



～大阪便の季節運航並びに利用助成制度のお知らせ～

大阪便の季節運航

■ 期間 8月10日(土)～14日(水)

■ 運行ダイヤ(予定)

萩・石見 9:00発 ⇒ 大阪(伊丹) 10:05着
大阪(伊丹) 7:30発 ⇒ 萩・石見 8:30着

利用助成制度

■ 内容



首都圏
在住者



関西圏
在住者

■ 申請方法 搭乗後翌月末(3月搭乗分は令和7年4月21日(当日消印有効))までに、申請区分に応じた申請書と必要書類を、電子申請、郵送または萩・石見空港で提出

※ ANA スーパーバリューセールは助成対象外

■ 窓口・提出先

萩・石見空港利用拡大促進協議会事務局
(益田市空港対策室) ☎ 0856-23-0990
〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号

会員募集!

全国のネットワーク会員に、年4回隔月で郵送発行月：1・4・7・10月号(1994年10月創刊)
会費：一般2,000円、特別賛助10,000円